



市議会だより

No.241

R8 春

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

令和8年5月25日



3 月定例会
(2月16日~3月19日)

表紙写真：ふくい桜ランタンナイト
審議事項：議案49件、報告4件、陳情2件
委員会審査、一般質問、予算特別委員会

予算特別委員会の委員を選任しました

委 員 名				
◎委員長		○副委員長		
◎皆川 信正	○村田 耕一	見谷 喜代三	青木 幹雄	
今村 辰和	鈴木 正樹	下畑 健二	伊藤 洋一	
藤田 諭	玉村 正人	八田 一以	津田 かおり	
浦上 逸人	高田 稔浩	佐野 弘		

〈調査項目〉各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件

令和8年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	137,700,000
国民健康保険	20,017,000
後期高齢者医療	5,461,000
介護保険	28,282,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	20,000
特別会計	25,700,000
競輪	25,700,000
産業団地整備	528,000
宅地造成	93,000
中央卸売市場	863,000
駐車場	84,000
企業会計	11,220,000
水道事業	11,220,000
簡易水道事業	732,000
下水道事業	26,770,000
集落排水事業	1,295,000
合計	258,765,000

主な議案

3月定例会

令和8年度当初予算

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10月11ページに掲載しています。

令和8年度は、本市行政運営の基本方針を定めた「第八次福井市総合計画」の最終年度にあたり、目指すべき将来都市像「みんなが輝く全国に誇れるふくい」を実現へと結実させる、まさに総仕上げの一年となります。これまで積み重ねてきた数々の取組と、市民の皆様とともに築いてきた歩みを確かなものとし、次なる時代への飛躍を図る重要な節目でもあります。

物価高が依然続く中においても、社会インフラの整備やにぎわいの創出、子育て・教育環境の更なる充実、防災・減災対策の強化、デジタル化・脱炭素化の推進などに着実に取り組み、本市の魅力为全国へ発信することで、安定した市政運営の責務を果たすとともに、新たな一歩を積極的に切り拓き、未来へ向けた歩みを加速させていきます。

こうした想いを込めて、令和8年度当初予算案は、「未来へ加速するふくい予算」責任ある持続と、果敢な挑戦」として編成した予算です。(各会計予算は左上の表を参照)

【予算のポイントとなる事業】

- ・ふくいは「ずっと楽しい!」
- ・学生どまんなかプロジェクト
- ・地元スポーツチーム×応援機運醸成事業
- ・アリーナ整備支援事業

ほか

Ⅱふくいは「やっぱり安心!」

- ・小学校給食完全無償化事業
- ・保育園主食提供推進事業

- ・母子免疫ワクチン定期接種事業 (RSウイルス感染症)
- ・5歳児健康診査事業
- ・住まいの暑さ対策支援事業
- ・ハピラインふくい新駅関連整備事業

- ・ふくい自動運転導入プロジェクト

ほか

Ⅲふくいは「もっと元氣!」

- ・地域農業みらい応援事業
- ・ふくいプレミアム商品券 (物価高騰対応事業)
- ・「連携中枢都市圏(嶺北)×東京」プラットフォーム事業
- ・大河ドラマ「豊臣兄弟!」関連誘客事業
- ・ふくいまちなか体験促進事業
- ・ふくい移住アンバサダー事業
- ・学生×企業リンクプロジェクト

ほか

令和7年度補正予算

3月補正予算は国の総合経済対策に基づき、令和8年度当初予算に計上予定であった事業の前倒し実施をはじめ、エネルギー価格・物価高騰への対応のほか、各事業の精算に伴うものなどについて計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で72億5,658万5千円、特別会計で3億6,744

万4千円、企業会計で1億7,080万円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,507億5,073万円、特別会計で898億9,017万4千円、企業会計で355億4,799万9千円、全会計で2,761億8,890万3千円となります。

※予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



条例

○福井市立学校施設使用料条例の一部改正について

部活動の地域展開に伴い、優先利用団体による学校施設の使用時における使用料を定めるとともに、学校体育施設への空調設備設置に伴い、一般利用等における空調設備の利用時に実費を徴収するため、所要の規定の整備を行うものです。

人事案件

○人権擁護委員

本年6月30日をもって任期満了となる茂呂信吾氏、田中忠夫氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(委員会終了順に掲載)

みぎへん・ひらへん・まぢへん対策特別委員会



《アリーナ整備に係る今後の取組について》

問 令和8年度は、アリーナにとって多くのことが動き出す大事な1年になると考えるが、具体的な資金計画といった全体像が見えていない。基本設計の金額や県民利用枠の30年間の負担の考え方など、不確定要素がある中で、税金の投入が増えてきたことから大きな議論になっている。今後、具体的な数字や中身をいつの時点で示してもらえるのか、どのような形で市民や議会の理解を得るのか。

答 令和8年度のアリーナに関する市関係予算については、3月定例会でしっかりと説明し、市民の方々や議員の皆様の意見を踏まえながら協議を進めていきたい。そのほか、予算が伴ったり、報告すべき事項については、その都度しっかりと説明していく。

建設委員会



《次世代地域交通導入事業について》

問 自動運転の小型バスを用いて、自動運転レベル2で1か月間実証実験するというこの事業の予算額が8,200万円と比較的高額であるが、使用する実験車両は本市が購入することになるのか。

答 これまで本市では自動運転バスを走行させた実績がないことから、初年度については車両のリースを検討している。リース料に加え、遠隔監視者の配置や、レベル2の実験であるため、運転手の同乗も必要となることから、これらの人件費も含んだ予算額となっている。

問 初年度は車両をリースするとのことだが、レベル3、レベル4など、今後どの段階で車両の購入を決めるのか。

答 まだ実証実験を行っていないため、いつ車両を購入するか明確ではないが、令和9年度にレベル4の実装を目指して事業を進めていきたいと考えており、その際には車両の購入も行いたい。

問 実際に自動運転バスを市街地において走行し、1か月の実証実験をするということだが、いつ頃実施するのか。

答 準備に数か月かかる見込みであり、国の事業採択後に準備にとりかかることから、早くても秋頃の実施となる。

総務委員会



《東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める事に関する陳情について》

意見 特定の政党機関紙に関して言えば、各自治体の優れた福祉や教育施策などが多く掲載されており、職員に購読を勧め、配達や集金も行っている。しかし、それらの行為自体がパワハラや圧力になるとは考えていないため、不採択とすべきとの意見があった一方で、今定例会の一般質問をはじめ、県や各市町の議会でもハラスメント問題が議論されている。当然いかなるハラスメント行為も許されるものではないことから、採択すべきとの意見や、人事当局は全く実態を把握しておらず、また、自ら報告しにくい

ものでもある。そのため、市として重要なこととして捉え、今後の調査を前向きに考えるべきであることから採択すべきなどの意見があった。

経済企業委員会



《農業振興費について》

問 農業振興は非常に大事な施策だと考えるが、令和8年度はどのようなところに力を入れて取り組んでいくのか。

答 大規模農家に対しては国や県で多くの支援事業を行っているが、本市の特徴としては小規模農家や兼業農家が多いことから、中小規模農家への支援が大切だと考えている。そのため、令和8年度の新規事業として500万円を計上し、中小規模農家を対象に、ドローンなどのスマート農機の購入費用を補助するほか、ドローンを操作するために必要な講習の費用を補助する予定であり、このように国や県の支援の対象にならない中小規模農家を支援できるような対策を講じていきたい。

教育民生委員会



《工事請負契約の変更（啓蒙小学校外壁改修工事）について》

問 ひび割れによる補修を要する箇所の数値が変更前の430メートルから変更後は1,200メートルと大幅に増えている。また、コンクリートなどの浮き部や爆裂部についても変更前と比べて、それぞれ大幅に増えたり減っていたりしているが、その理由は。

答 変更前の数値は、過去の工事実績からの推計値に、職員の目視と打診による現地調査の結果により補正をかけて算出した設計数量である。実際の工事にあたっては、足場を組んで施工することから、費用面での効率性を考慮し、足場を組んだ後、全面的に調査を行うため、数値に大きな乖離が出ることとなった。

今後は、このような乖離ができるだけ生じることのないよう、設計数量などの精査について、現在、営繕課と協議しているところである。

要望 足場を組んだ後でなければ難しい点は理解できるが、入札の公平性の観点からも、事前の数値算定の精度を高めてほしい。

また、老朽化している学校施設が多数存在することから、しっかりと予算を確保し対応してほしい。



明倫中学校校舎大規模改修工事は体育館の空調も絶対実施すべき

質問

令和7年度から9年度にかけて実施する予定で継続費が計上されている。改修の自身について説明を求め、体育館の空調設置を強く求める。改修は何十年に一度であり、この機を逃せば、また何十年も待つ。昨今の猛暑を考えれば体育館空調は絶対必要である。

回答

明倫中学校の改修工事では、外壁の改修や屋上防水の全面改修などを行うとともに、電気設備及び給排水管設備等のライフロインの更新を行い、断熱材やペアガラス、LED照明への更新による省エネルギー対策を行う。

体育館の空調整備については、今年度から最初に開設する避難所に指定している学校体育館への空調設備導入を始めたところである。すべての学校への空調整備は大きな財政負担を伴うことから、国に対して、引き続き更なる支援強化を求め、財政状況を踏まえながら計画的な整備を検討していく。



健康施策における予防の位置付けについて

質問

本市では、スマホで健康ポイント事業を実施し、市民の歩行習慣や健康意識の向上に繋がる取組を進めている。この事業は、医療費の抑制や重症化予防といった観点から、どのような効果を見込んでいるのか。

また、医療費削減効果を定量的に検証する仕組みは。

回答

歩行など日常生活における健康行動の増加は、肥満の予防や脂質異常などの改善を促し、生活習慣病の発症及び重症化予防に寄与するとともに、将来的な医療費の抑制につながるものと考えている。

令和7年度に、国民健康保険加入者のうち、本事業の参加者とならぬ参加者の平均額を比較したところ、参加者のほうが約5万円低いという結果が得られた。医療費には個々の生活習慣や病歴などが影響するため、明確な数値化は困難だが、参加者の医療費データの推移を継続的に把握するなど、把握可能な範囲で事業の効果を確認していきたいと考えている。



地域交通について

質問

南西地区（清水地区）で実施されたAーオンデマンド交通mobi（モビ）の実証運行について、その実施概要と結果の詳細を伺う。

回答

実証運行は、令和7年11月末から12月末までの26日間実施し、利用人数は延べ422人、1日当たりの利用人数は16・2人であった。これは、清水地区内を運行する地域バスの1日当たりの利用人数15・6人、南東地区を運行するフルデマンドタクシーの1日当たりの利用人数12・2人と比較しても多い結果となった。利用者アンケートでは、普段は公共交通を使わない方や自宅用車中心の方の利用が見られ、予約方法は、約7割がインターネットであり、「簡単に予約できた」との回答が多く寄せられた。

これらの利用実績やアンケート結果から、既存の公共交通からの転換やオンデマンド交通に対する地域の理解が一定程度得られ、実証運行の満足度は概ね高かったと認識している。



ふくい自動運転導入プロジェクトについて

質問

令和8年度当初予算で、「ふくい自動運転導入プロジェクト」として8,200万円が計上されている。これは、対象地域はどこで、どのようなことを行うのか。

回答

本事業は、将来、運転者に代わって、システムが自動車の運転操作を行う自動運転レベル4の実現を見据えた取組である。今回の対象地域については、既存のバス路線の代替など、地域の足として必要とされる自動運転移動サービスとするため、需要が見込まれ、かつ自動運転の認知拡大と理解促進につながるような、市街地を含めたエリアを検討している。

実証運行では、国の支援を受けつつ、自動運転に対応した小型バス車両を使用し、1か月程度の運行を想定している。また、社会実験でもあることから、可能であれば運賃は無料とし、多くの市民や来街者に乗って体験していただきたいと考えている。



明倫中学校の大規模改修と福井市指定避難所について

質問

明倫中学校の大規模改修は、「洪水・土砂災害ハザードマップ」を念頭においた、高齢者・車椅子利用者などの命を救うため、本市指定避難所としての防災機能を高めるための改修になっているか。

回答

明倫中学校の大規模改修のうち、防災機能を高める改修として、体育館への車椅子使用者用トイレの新設や、段差解消などのバリアフリー整備を行い、高齢者や障がい者の方に配慮した施設とする。

また、浸水対策として受変電設備の設置場所を約2メートルかさ上げすることで、防災機能を高めている。



うるしさき あたえ
漆崎 與 議員
一真会

市長ビジョンロードマップについて

質問

市長は、公約した施策をいつどのように取り組むのかロードマップを作成し公表しているが、市長に就任してからこの2年間を振り返り、特に、予想していたより成果を上げた事業があれば教えてほしい。

回答

市長ビジョンでは、まちづくり・くらし・しごと・教育の各分野で、楽しい・安心・元気の視点から重点施策を示しており、令和6年度から毎年度ロードマップを作成し、その進捗を市民の皆様に分かりやすくお伝えしている。想定を上回る成果があったものとして、ふくい「ダン☆スター」プロジェクト、スロバニア共和国クラン市との姉妹都市協定締結、障がい者芸術文化祭の初開催、避難所となる学校体育館への空調設備整備、就労体験事業や移住体験事業を通じた福井の仕事や暮らしの魅力発信、新たな産業団地の整備に向けた取組、北陸で初となる中核市サミット開催などが挙げられる。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

アリーナ整備事業費と既存施設の維持管理について

質問

アリーナ整備支援に新年度予算で2億8,600万円余りが計上されている一方、管理が不十分な既存施設もあり修理になると「予算の都合でも」と味気ない答えが返ってくる。既存施設の修理こそが、アリーナ建設への市民理解の醸成につながるのではないかと。

回答

本市のスポーツ施設は老朽化が進んだ施設が多く、経年劣化や多くの利用等により破損や故障等のリスクが高まっていることから、安全確保を最優先に緊急性の高いものから計画的に対応している。施設の整備や維持管理等の方向性は、福井市公共施設等管理計画、福井市施設マネジメント計画やアクションプランなどの各種計画により定められている。今後の施設の整備方針についても、これらの計画との整合性を図りながら、市民に安心して利用してもらえよう、各種整備等について第九次総合計画の実施計画に反映していく。



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

公共性の高い上下水道は福井市が直営に

質問

市は技術職員の減少を理由に下水道の維持管理を民間委託するとしているが、技術職員の計画的採用と育成をすべき。民間委託すれば、補修工事を請け負う市内の業者が不利になる可能性や安全のためのコスト削減の不安がある。上下水道は民営化すべきでないのでは。

回答

技術職員が豊富な知識を蓄積し、経験を積み重ねていくことは重要であり、技術力を高めるため、毎年、研修プログラムを作成し、研修を行っている。今後も研修を通して技術職員の育成に取り組んでいく。また、様々な機会を捉えて採用試験の受験者を増やす取組を行っている。技術系職員について、筆記試験を特別な公務員試験対策を必要としない内容としたほか、社会人経験者の通年での募集や大学等推薦枠を新設するなど、優秀な人材の安定採用を図っている。水道事業は極めて公共性の高い事業であり、将来にわたって安定した給水を継続していくため、現時点で民営化は考えていない。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

持続可能な地域づくりについて

質問

人口減少と少子高齢化が同時に進む中で、路線バス等の移動の問題は地域で暮らし続けられるかどうかを左右する重要な要素である。近接路線の集約、オンデマンド転換、ダイヤや運賃の改善等を検討する交通最適化事業で示される将来ビジョンとは。

回答

市民が日常生活や社会生活を営む上で、移動を守ることは極めて重要であると認識している。現在、未来へつなげるバス路線最適化事業において作成している「バス路線再編のビジョン素案」では、路線が重複、輻輳する地域において、地域の特性に応じた路線の見直しや運行の効率化を検討している。その中で生じる余剰資源は、利用ニーズの高い路線や時間帯へ重点的に配分することで利便性の向上が図れるよう基本的な考え方を整理している。作成したビジョン素案を基に、交通再編の対象となる地域に入り、住民の声を聞きながら、分析結果やバス事業者の運転士数などの実情も踏まえ、令和8年夏頃に将来ビジョンを作成したいと考えている。



くすの さちよ
葛野 早智代 議員
一真会

小学校体育館の避難所空調設備整備事業について

質問

令和7年度の進捗状況と完成の見通しについて、令和8年度予定の10校は予定通り完成できる見通しがたっているのか。また、LPガス方式を採用するにあたり管理方法についても教えてほしい。

回答

12月時点で工事入札期間中であつた6校のうち4校は、本年6月末に完成予定で、残りの2校は工事の再入札を行い、8月末に完成予定である。また、設計業務の再入札となつた4校は、今月中に設計業務を完了し、来月に工事発注。9月末の完成を見込んでいる。令和8年度予定の10校の見通しは、昨年12月の補正予算により設計業務を前倒しして行つており、本年6月末に完了予定である。順調に進捗しており、設計完了後は、速やかに工事を発注していく。体育館空調のLPガスの補充・管理は、LPガス販売事業者との契約にて行うことになる。ガスの補充は、ガスタンクに設置する残量監視システムにより販売事業者が残量を管理し、随時補充していく。



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

アリーナ財源確保予算（競輪事業収入など）は大問題だ！

質問

競輪事業収入1億円は一般会計の財源にするのが当然である。なぜ、（株）福井アリーナに渡すのか。本来の建設費調達スキームから外れている。

財政調整基金に必要額を積まない中で、（株）福井アリーナに本来支出すべきではないお金を回すのはどういう考えか。

回答

競輪事業収入については、アリーナの機運醸成を図ることを目的に、福井アリーナを冠したリースを開催し、収益金の一部をアリーナ支援として活用するものである。



すすき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

国保の基金を使い国保税の引き下げを

質問

市の国保の基金が17億円余り（見込み）、県に積み立てられている財政安定化基金は55億円余り（見込み）もたまっている。その基金を使ってもっと国保税を引き下げるべきでは？

回答

本市では、令和12年度に予定されている県内の税率統一に向け、段階的に県標準額へ近づけていくことを基本方針として、税金を設定している。基金を投入して税率を軽減した場合、一時的に市民の負担は減るが、税率統一時点においては、その反動として大幅な税率上昇を招くおそれがある。市民の負担感がむしろ大きくなると考えている。税率統一に向けた基本方針に沿った改定を進めるとともに市民負担にも配慮しながら適切に基金を活用していく。

また、財政安定化基金の取崩しについて、県は、来年度の市町に対する国民健康保険事業費納付金の算定にあたり、医療費の増加や新設する子ども子育て支援金に伴う保険料の急激な増加を抑制するため、基金を活用する予定としている。本市では、今後も必要に応じて基金を適切に活用するよう、引き続き県に要請していく。



さの ひろし
佐野 弘 議員
一真会

持続可能な水田農業について

質問

米価高騰と資材高騰により消費者負担と農家経営不安が併存するなか、担い手不足や農地維持の課題も踏まえ、水田農業の持続に向けた市の現状認識と所得確保・農地対策の方向性を伺う。

回答

農業生産資材価格指数は、令和2年度に比べ、7年度には1.25倍となり、生産資材価格の高止まりが続いている状況にある。一方、昨今の米価高騰を受け、短期的には、農業経営に一定の改善が図られたが、担い手の高齢化も相まって、中山間の将来の農地や畦畔、農道等の維持管理には大きな懸念があり、依然として本市の水田農業は非常に厳しい状況にある。農家の所得確保については、収量や付加価値を高めていくことが非常に有効であり、再生二期作、多収品種への転換、有機農業などの取組は、有効な手段である」と認識している。農地対策については、契約主体である福井県農地中間管理機構に対し、適切な農地利用が確保されるよう再度働きかけ、耕作放棄地の発生防止に努めていく。



つだ
津田 かわり 議員
公明党

本市のハラズメント対策について

質問

前福井県知事によるセクハラ問題は県民に大きな衝撃と深い失望を与えた。本市のハラズメントに関する相談件数は？前知事の問題や県の新たな取組を踏まえ、「事が起きる前に防ぐ」「声をあげた人が必ず守られる」本市のハラズメント対策を問う。

回答

ハラズメントに関する今年度の相談件数は、1月末現在でパワハラ14件、セクハラ2件、カスハラ1件である。

本市では、職場のハラズメント防止等に関する指針に基づき、ハラズメント防止対策に取り組んでおり、職員課安全衛生室等に相談窓口を設置し、職員が安心して相談できる環境整備に努めている。

今後は、前知事の問題や指針の改定から5年が経過していること等を踏まえ、職員間のハラズメント防止体制が十分なものであることを確認するため、関係する要綱等及びハラズメントに関する手続や周知方法等に関する職員アンケートの実施を検討している。



うらがみ はやと
浦上 逸人 議員
一真会

物価高騰対策について

質問

物価高による家計の負担は年々増加しており、本市も政策としてその対応が必要である。国の「重点支援地方交付金」を活用した「ふくいプレミアム商品券事業」について、スクジュール、経費率、期待される効果は。また、購入方法や対象者などの事業概要は。

回答

3月中旬に公募型プロポーザルにより事業者を選定し、7月1日からの1か月間に商品券を販売し、9月までを利用期間とする予定である。

経費率は、事業費3億円に対し、事務費8千万円で約26%となる。

紙の商品券とする中で、家族で共有でき、小規模店舗でも対応しやすいため、より多くの店舗で取扱いいただくことにより、事業者の支援に加え、消費喚起につながると期待している。

市の全世帯約11万世帯が対象で、送付するはがきを指定販売場所へ持参することで、1セット3,000円の商品券を2,000円で2セットまで購入いただける。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
無所属

教育旅行の受入れについて

質問

県外からの中高生の修学旅行において、各民家に分散し、福井の自然、食、農業体験、漁業体験を通じて受入れ先の家族と交流を図る教育旅行について、今後どのように県外の学校を増やしていくのか。また、受入態勢をどのように強化していくのか伺う。

回答

県外からの教育旅行を増やす明確な数値目標はないが、金沢や京都にはない魅力や体験メニューをPRするなど、教育旅行で福井を訪れ、その魅力に触れることで将来の観光誘客につながるよう取組を進めていく。
教育旅行や民泊の窓口「教育旅行ふくい」では、新規受入れ先に対する説明会や、既に入入れを行っている事業者への研修会等、受入れ体制の強化に取り組んでいる。
また、本市では、農家民宿の整備、改修に必要な経費に対して助成を行っており、今後も支援を継続するほか、受入れ側のやりがいや楽しさを広く発信し、受入れ先の拡大に向けて取り組んでいく。



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

地方創生について

質問

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発が、虫食いのような開発になってもかまわない、市としてブランドデザインを描いて整然と開発を進めるつもりがないように見える。ご所見をお伺いする。

回答

地域未来投資促進法に基づき策定した福井県嶺北地域基本計画で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図るべき地域を設定しており、本市では、テクノポート等の工業団地や福井インターチェンジ、福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の交通結節点など、今後の産業集積の軸となるエリアを10か所設定し、産業振興を図っている。
福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺は、北陸自動車道、中部縦貫自動車道、国道416号の交通結節点で、民間の流通団地が立地するなど、今後も注目を集めていくエリアである一方、農業振興エリアでもあることから、田園風景と調和した産業拠点が形成されていくと考えている。



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

都市計画について

質問

事業を進めるにあたり、都市計画決定をするものがあるが、これまでに長期未着手の都市計画道路や新たに整備する都市公園等の都市施設に対しては、社会情勢の変化を踏まえた見直しが必要になってくるかと思うが、本市の所見を伺う。

回答

都市計画道路や都市公園等の都市施設は、都市の骨格を形成し、地域の安全性や利便性を支える重要な基盤として、将来を見据えた長期的な視点のもとで都市計画の決定をしてきている。
一方で、計画決定から相当の年月が経過している都市施設もあり、その間に人口動態や交通状況、土地利用の変化など、都市を取り巻く環境は大きく変化しており、本市では、これまでに適宜、都市計画道路等の都市施設の見直しを行ってきた。
今後、社会情勢等の変化により必要が生じた場合には、都市計画道路や都市公園等の都市施設について、見直しの検討を行っていきたいと考えている。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

多文化共生のまちづくりについて

質問

最近では、外国人の受け入れを制限する風潮があるが、どう考えるか。外国人を労働者でなく市民として迎えることが、少子高齢化が進む社会の持続可能性に寄与すると考えるが、本市の見解を伺う。

回答

本市では、日本人市民も外国人市民も共に安心して暮らせる地域づくりを目的として、平成22年に福井市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生のまちづくりを進めてきた。プランの基本理念として「いろんな国の人たちが手をつなぎ、ともに支えあうまちづくり」と定めている。互いの文化や価値観を理解し合う上では、オンライン上の情報だけでなく、市民同士が直接ふれあい、交流する機会を持つことが重要であり、国際交流イベントや地域での交流活動などの機会を設け、多文化共生意識の醸成を図っている。
今後、引き続き、同プランに基づき、多文化共生のまちづくりを進めていく。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
新政会

今年度の除雪の取組状況について

質問

雪置き場が少ない地域や道路幅員が狭い地域における除雪の課題について、市としてどのように把握し、改善に向けた検討をしているのか。

回答

本市の中心市街地では、雪を仮置きする場所が限られている地区や、生活道路の幅員が狭いために除雪車が進入しにくい地区などが存在している。これらの地区では、除雪作業が物理的に制約されることで、他の地区と比べて作業効率が低下し、除雪に長時間を要してしまう状況にある。
このため、本市では、このような地区を受け持つ業者から聞き取りを行い、除雪エリアを細分化する調整や、狭い道路に対応できる除雪機械の導入などの見直しを図っていくほか、必要に応じて自治会に雪置き場となる土地を確保していただくなど、地域の実情に応じた除雪体制の構築を進めていく。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

具谷喜代三 皆川信正
青木幹雄 今村辰和
八田一以 浦上逸人
佐野弘



3月12日



3月13日

○平成18年の市町村合併から20周年を迎えることについて

問 西行市長は就任以来、「福井は楽しい、福井は安心、福井は元気」を柱に据え、市政を推進してこられたが、このフレーズは、市長や行政が一方的に叫ぶだけでなく、市民一人一人が実感できてこそ意味があり、旧美山町、清水町、越廼村に住んでいる方々にも不公平感なく、ひとしく実感できるものでなければならぬと考える。その意味において、これまでの

取組は合併旧町村の垣根を越えてバランスがとれていると言えるのか。また、旧3町村の住民から「合併してよかった」と評価してもらえないものと認識しているのか。加えて、これからのような覚悟で周辺地域の活性化に取り組んでいくつもりなのか。

答

美山、越廼、清水の3地区の住民の方々が自信と誇りを持ち、安全で安心して住み続けられる地域の実現を目指すことが我々自治体の務めであると認識している。このため3地区では、市内全地区に配置している地域担当職員に加え、地域振興担当職員を配置しており、住民の意見に耳を傾けながら地域づくりに取り組んでいる。一方、DXを活用した医療、福祉、買物支援及び公共交通インフラの整備を強化していくことも重要であり、美山地区等ではオンライン診療の導入に向けた検討を行うとともに、清水地区ではオンデマンド交通の

本格導入に向けて地域との協議を進めていきたいと考えている。また、市外や県外からの誘客を促進し、利益を生み出す取組も必要であるため、中部縦貫自動車道の県内全線開通を念頭に、越廼地区を含む越前海岸の活性化などもしっかりと進めていきたいと考えている。合併20周年という節目を契機に、美山、越廼、清水の3地区において、このような取組を強化し、本市が一体的にさらに発展していくよう取り組んでいく。

市民クラブ

村田耕一 玉村正人
高田稔浩



3月12日



3月13日

○小学校プール学習民間活用モデル事業について

問 対象校や対象学年、実施時期、実施時間、移動手段など、事業を実施する上で様々な課題が考えられるが、具体的にはどのような内容で実施するのか。

答

本事業は令和8年度に市内の小中学校7校をモデル校として、民間のスイミングスクールでプール学習を実施することで、今後の民間委託の可能性を検討するものである。委託内容は、インストラクターによる水泳指導と、スイミングスクールのバスによる児童と教員の送迎であり、これらに係る費用を新年度予算に計上している。このモデル事業では、1回のプール学習で、1校当たり100人程度が指導を受ける予定である。実施時期は5月から9月頃を想定しており、移動時間を含めて1回あたり2時間分を充てる予定である。そのうちプールに入る時間は45分程度になることから、学校のプールを使用する場合の2時間分とほぼ同程度の授業時間が確保できる見込みである。また、スイミングスクールから比較的遠い学校については、移動時間を活用し、バスの中で安全学習を行うなどの工夫をしていきたい。

要望

民間のスイミングスクールを活用する利点は、インストラクターによる専門的な指導が受けられることや、室内の温水プールで季節に関

係なく授業を実施できることである。本モデル事業の取組を、今後、市内の他の小学校にもひろげていってほしい。

新政会

伊藤洋一 藤田諭



3月12日



3月13日

○金福すいかについて

問 金福すいかのペアブランドである緑のしま模様は、黄色の果肉を持つ銀福すいかは、まだ知名度は低いが、金福すいかとのセット販売は、縁起物としての価値が非常に高い。銀福すいかの認知度向上と、セット販売を強化するためのパッケージ支援やプロモーション予算をどのように考えているのか。

答

銀福すいかは、金福すいかとセットでの販売を目的に開発したスイカで、金福すいかとは違った甘さや食感

があることから、銀福すいかのほうを好んで購入する消費者もいる。このため、誕生の由来や味の特徴をしっかりとPRするなど、認知度向上に努めており、今後も引き続き取り組んでいく。また、セツト販売のパッケージは、本市が統一したデザインを企画し、印刷したものを使用し、販売を進めている。

問 金福、銀福すいかの生産量がぐれば、価格の下落が懸念される。単なるおいしいスイカではなく、本市でしか手に入らない幸福の象徴としてのブランドストーリーを構築し、高単価を維持していくため、どのような戦略を考えているのか。

答 金福すいかと銀福すいかの価格は年々上昇しており、過去最高を更新し続けている。この好調の波を継続していくため、栽培技術や高品質の維持を目的として、本年1月に生産者、JA福井県、本市で構成する金福すいか生産部会を設立した。現在、この組織において、国が品質や栽培方法、ストーリーといったその地域ならではの特性を備えた産品を地域ブランドと

して認証・保護する地理的表示「GI」の申請を進めている。また、来年度から始まる秋篠宮家への献上という名譽な機会を通じて、ブランド価値をより一層高めるとともに、単価の維持・向上につなげていく。

公明党

下畑 健一 津田 かおり



3月12日



3月13日

○本市の物価高対策について

問 現在、アメリカとイスラエルがイランに対し大規模な軍事攻撃を行っており、紛争が長期化した場合、電気・ガス代等のさらなる高騰が懸念されるが、今後の経済や市民生活に及ぼす影響について本市はどのように考えているのか。また、電気・ガス代等の支援の検討も必要と考えるが、本市の見解は。

答 中東情勢の悪化に伴う原油価格の上昇により、ガソリン価格の高騰や生活必需品

の値上げ、物流コストの増加など、幅広い分野での影響が懸念されている。特に原油価格の上昇の影響が、夏季の冷房需要の増加時期と重なることで、家庭の光熱費負担の増加や、事業者の生産コスト上昇が生じるおそれがあり、地域経済への影響を危惧しているところである。本市ではこれまでも、原油や電気料等のエネルギー価格が高騰した際には、福祉施設や保育所、交通事業者などを対象に、電気・ガス代等の支援を行ってきた。また、国や県においても、市民や事業者に対する負担軽減措置が講じられてきた。今後、電気・ガス代等の高騰がさらに進み、市民生活や地域経済への影響が拡大する場合には、市民の日々の暮らしを支え、守るため、国や県の動向を注視しながら、本市として取り得る支援策を速やかに検討していきたい。

日本共産党

鈴木 正樹



3月12日



3月13日

○国民健康保険税の税率改定について

問 令和12年度に課税方法が県下統一となることに向けて、本年4月から所得割を引き下げる一方、低所得者にとって負担が重い均等割や平等割を増やすとしている。これにより、国保加入者の大部分である低所得者の課税負担が重くなることから、その暮らしに対する配慮を切り捨ててまで、県単位で統一する必要はあるのか。

また、国や県に対して、市町ごとの課税の在り方は、市民の実態に合わせて柔軟に対応できるように求めるべきではないか。

答 国は、「県内のどこに住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば、同じ保険料水準となること」を基本的な方向性として示しており、県においても、この考え方に基づき、保険料水準の統一に取り組んでいる。このため、市町単位での保険料率設定に戻すことは妥当ではないと考えている。

(3月定例会)		議案等の審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
議案番号	件名	審議結果		
第1号議案	令和8年度福井市一般会計予算	3月19日	原案可決	●
第2号議案	令和8年度福井市国民健康保険特別会計予算	//	//	●
第3号議案	令和8年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	//	//	●
第4号議案	令和8年度福井市介護保険特別会計予算	//	//	●
第5号議案	令和8年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	//	//	●
第6号議案	令和8年度福井市競輪特別会計予算	//	//	●
第7号議案	令和8年度福井市産業団地整備特別会計予算	//	//	●
第8号議案	令和8年度福井市宅地造成特別会計予算	//	//	●
第9号議案	令和8年度福井市中央卸売市場特別会計予算	//	//	●
第10号議案	令和8年度福井市駐車場特別会計予算	//	//	●
第11号議案	令和8年度福井市水道事業会計予算	//	//	●

(3月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第12号議案	令和8年度福井市簡易水道事業会計予算	3月19日 原案可決	●
第13号議案	令和8年度福井市下水道事業会計予算	// //	●
第14号議案	令和8年度福井市集落排水事業会計予算	// //	●
第15号議案	福井市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	
第16号議案	福井市保健所事務手数料条例の一部改正について	// //	
第17号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //	●
第18号議案	福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について	// //	
第19号議案	福井市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	
第20号議案	福井市越前水仙の里公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	
第21号議案	福井市グリフィス記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	
第22号議案	福井市愛宕坂茶道美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	
第23号議案	福井市中央卸売市場業務条例の一部改正について	// //	
第24号議案	福井市駐車場条例の一部改正について	// //	
第25号議案	福井市水道給水条例及び福井市公共下水道条例の一部改正について	// //	
第26号議案	福井市立学校施設使用料条例の一部改正について	// //	
第27号議案	福井市立幼稚園設置条例の一部改正について	// //	
第28号議案	包括外部監査契約の締結について	// //	●
第29号議案	土地改良事業の計画の概要について	// //	
第30号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	// //	●
第113号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	// //	
第114号議案	令和7年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	// //	
第115号議案	令和7年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	// //	
第116号議案	令和7年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	// //	
第117号議案	令和7年度福井市水道事業会計補正予算	// //	
第118号議案	令和7年度福井市下水道事業会計補正予算	// //	
第119号議案	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例及び福井市監査委員に関する条例の一部改正について	// //	
第120号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	
第121号議案	福井市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	// //	
第122号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	// //	
第123号議案	福井市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	// //	
第124号議案	工事請負契約の変更について(光陽中学校外壁改修工事)	// //	
第125号議案	工事請負契約の変更について(啓蒙小学校外壁改修工事)	// //	
第126号議案	工事請負契約の変更について(清水中学校校舎・体育館・外1棟外壁改修工事)	// //	
第127号議案	市道の路線の廃止について	// //	
第128号議案	市道の路線の認定について	// //	
第129号議案	工事請負契約の締結について(明倫中学校校舎・体育館長寿命化改修工事)	// //	
第130号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	// //	●
第131号議案	工事請負契約の締結について(明倫中学校校舎外長寿命化改修電気設備工事)	// //	
第39号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度福井市一般会計補正予算)	// 承認	
第40号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	2月16日 受理	
第41号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	// //	
第42号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	// //	
陳情第9号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める事に関する陳情	3月19日 採択	●
陳情第10号	[地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書]の採択を求める陳情書	// 不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 欠…欠席 退…退席

※原則、議長(田中義乃)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										市民クラブ					新政会			公明党		日本 共産党	無所属										
		見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榎原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	高田 稔浩	宮岡 勝也	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦	
3月定例会																																	
第1号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第2号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第3号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第4号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第6号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第7号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第8号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第9号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第10号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第11号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第12号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第13号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第14号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第17号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第28号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第30号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第130号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第9号	採 択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第10号	不採 択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静(令和8年1月~3月)

1月26日	福井県市議会議長会 定期総会(鯖江市)
28日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(三重県)
2月4日	全国市議会議長会 理事会(東京都) 全国市議会議員互助会 代議員会等(東京都) 北信越市議会議長会 理事会(東京都)
12日	市町総合事務組合議会 定例会 福井県自治会館組合議会 定例会
13日	後期高齢者医療広域連合組合議会 定例会 福井県市町振興協会 理事会
17日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 運営懇話会(あわら市)
3月26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会
30日	要望活動(東京都)

3月定例会

2月16日	本会議
17日	議会運営委員会
24日	議員全員協議会 本会議(一般質問)
25、26日	本会議(一般質問)
27日	総務委員会 建設委員会
3月3日	教育民生委員会 経済企業委員会
12、13日	予算特別委員会
17日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会 本会議

定例会外の議会日程(令和8年1月~3月)

1月16日	議会運営委員会
2月3日	みちづくり・ひとづくり・まちづくり対策特別委員会
9日	議員全員協議会、議会運営委員会

ケーブルテレビの議会放送の
チャンネルが変更しました

変更前:「ふくチャンネル」(121ch)

変更後:「コミュニティチャンネル」(092ch)

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
みちづくり・ひとづくり・ まちづくり対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

TEL.0776-20-5510

編集後記

今回で3回目となる「ふくい桜マラソン」は、初めて桜が咲く中での開催となりました。沿道の方々からの温かい応援など大会全般を評価する声は多く、県外から来られた約1万人のランナーにも福井の魅力を十分に感じていただけたのではないかと思います。

さて、3月定例会の一般質問では、各議員が市民の声を踏まえ、令和8年度当初予算、アリーナ、物価高騰対策などを取り上げました。また、多くの議員が、一過性の効果ではなく持続可能な地域振興についての指摘、提案などを行いました。

今後も市民の意見を伺い、地域の活性化に繋がっていく議会活動を続けていくとともに、読みやすく親しみやすい「市議会だより」の作成に努めてまいります。

(編集委員 浦上、漆崎)

》》》 次回は 》》》 6月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、コミュニティチャンネル092chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

